

か た の 市 議 会 だ よ り

★
第157号

平成22年
8 / 1

昨年の交野市民まつり（市広報提供）



議会ニュース

北河内夜間救急センター 枚方市へ 北河内夜間救急センター協議会規約の一部変更を可決

第3回議会定例会を開催

平成22年第3回議会定例会は6月2日～18日の17日間を会期として開き、市長提出案件30件、議員提出案件5件を審議しました。

目 次

- 2 議会ニュース
- 3-6 一般質問
- 7 委員会審査のあらまし
- 8 議会で決めたこと

北河内夜間救急センター 枚方市へ

北河内夜間救急センター協議会規約の一部変更を満場一致で可決

小児救急体制維持のため、11月に集約化を予定

第3回議会定例会

本会議の動き



現在の北河内夜間救急センター（寝屋川市）

現在、昨今の医師不足などが原因で、北河内における小児救急体制の崩壊が懸念されています。特に、二次救急を担う枚方市民病院では、軽症患者と重症患者が混在し、二次救急機能が

パンクしている状態です。そのため、一次救急を担う北河内夜間救急センター（寝屋川市）を枚方市保健センター（枚方市民病院横）へ移転させ、一次救急と二次救急の役割を明確化し、持続可能な小児救急体制の構築を図ります。

また、両施設を隣接させることで、一次救急を受診した患者の症状が急変した際、二次救急へ迅速に搬送することが期待されます。

今議会は、6月2日の本会議において、人権擁護委員の推薦を適任と決めた後、「21年度一般会計繰越明許費繰越計算書について」や「土地開発公社の経営状況について」など9件の報告を受け、「専決処分事項報告について（税条

例の一部を改正する条例）」等7議案を承認しました。続いて、「非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について」や「北河内夜間救急センター協議会規約の一部を変更する規約について」等11議案を満場一致で可決しました。

また、「22年度一般会計補正予算（第1号）」についてを総務文教常任委員会に、「国民健康保険条例の一部を改正する条例について」と「住宅リフォーム助成条例制定について」の2議案を都市環境福祉常任委員会に付託し、審査することを決めました。

14日・16日には、市政全般に対する一般質問を行いました。

最終18日は、2常任委員会の付託議案について、各委員長から審査の経過と結果の報告が行われました。

採決では、「住宅リフォーム助成条例の制定について」は賛成少数で否決しましたが、他の2議案については、満場一致で可決しました。

次に、4本の意見書を可決した後、議会改革特別委員会の閉会中の審査経過報告を行い、最後に2常任委員会の他市行政視察の報告を行いました。

■全国市議会議長会表彰（10年在職）を4議員が受ける

5月26日、東京で開催された第86回全国市議会議長会において、市議会議員として10年にわたり市政の振興に努めた功績を称え、4名の議員が表彰を受けました。なお、第3回議会定例会の初日（6月2日）に、本会議場で伝達式を行い、吉坂議長から、それぞれ賞状が手渡されました。



坂野光雄議員



谷 巖議員



浅田耕一議員



前波艶子議員

市民ががやき クラブ

黒田 実・谷 巖
坂本 顕・野口 陽輔
吉坂 泰彦

「ローカルマニフェスト交野」 市長の自己評価について ほか

問 この度、4年前の「ローカルマニフェスト交野」の自己評価を議員に配られたが、第三者評価はされないのか。またマニフェストの重要項目は。

答 任期中最後の議会であり、自分の評価をお知らせするために配った。第三者評価については、私（市長）からお願するものではないと考えるが、中立的な立場で評価いただければありがたい。思い入れの強いものは、財政健全化を最優先に、市民力・地域力を高めて安心・安全で持続可能なまちを構築することである。

問 マニフェストに掲げられている「自治基本条例」「環境基本条例」は策定されていないが。

答 実現していないことは



市役所でのLAS-E外部監査

お詫びしたい。ただし、総合計画策定の中で、自治基本条例の理念を可視化・具体化することが望ましいと判断した。環境基本条例についてはLAS-E（環境自治体スタンダードの略語で、環境に配慮した自治体かをチェックする基準。）を導入し、市民の環境を守る機運が高まったと考えて

おり、これから始める段階である。

問 市民協働に関わる具体的施策も達成できていないが。

答 条例制定や制度の構築に至らなかったのは事実であるが、全く実現していないとは考えていない。表面上できていない施策について、既に芽が出ているものと自己評価している。

問 マニフェストにある「市民提案型助成制度」ができていない理由は。

答 私（市長）の指導力のなさや、財政的な問題などいろいろあるが、今後どう実現していくのか議論している。

問 議論中とのことであるが、できなかった最大の理由は。

答 財政事情を踏まえると、まず既存の助成制度・支援制度を整理しなければならぬ。その見直しが遅れていることをお詫びしたい。

問 新たな制度を作る時に、既存の制度を見直すことは当然である。それがで

きずに4年が経過した理由は。

答 市の財政事情を市民に理解してもらえようになつてきて、ようやく既存制度の見直しを議論できる機運になつてきたと考える。

問 それならゆうゆうバスの見直しは、機運が高まったからなのか。

答 福祉バスとして原点に戻つて考えるべきと考えたからである。

意見 すべての制度について、原点に戻つた見直しを行政が発信し、イニシアチブをとつて議論していかねば、機運も生まれてこない。機運が生まれてこなかったの見直しができなかったというのは理由にならない。

その他の質問

- 一、「暮らしの便利帳」の掲載広告について
- 一、第二京阪開通後の交通量・環境影響等について
- 一、買い物に困る高齢者対策について
- 一、救急情報キットについて

児童虐待について

会派無所属 栗原 俊子

問 府政だよりで、ストッパ児童虐待、あなたの連絡で子どもも保護者も救われると児童相談所の電話番号を記し、呼びかけているが、市の考えは。

答 児童虐待が深刻化する中で、市も早期発見につながるよう啓発していきたい。

問 児童相談所はどんな対応をするのか。

答 子どもの安全確保のため、市の関係機関と協議、家庭訪問などをし、一時保護を行っている。

要望 一時保護は応急措置に過ぎないと考える。児童虐待は若い貧困家庭で多く発生しているが、就労確保により、家計が安定し、保育所入所ができることにより、虐待防止につながると考える。府へ、そのような家庭の就労あっせんを要請されたい。

公明党

新 雅人・岩本健之亮
三浦美代子・友井 健二

教育行政について

ほか

学校の耐震化について

問 学校の耐震化の現状はどうか。また、今後の予定は。

答 全学校施設54棟中残り28棟を、今年度11棟の工事を含めて25年度中に100%を目指している。



誤認しやすい第二京阪道路の標識

問 少しでも工事の前倒しはできないか。

答 国の優遇措置が引き続き継続されるよう、国、府に要望しているところであり、財源確保ができれば前倒しが最善と考える。

安心安全のまちづくりについて

問 第二京阪道路が開通して2ヶ月半余りだが、問題点はないのか。

答 標識の誤認により迷い込み車両の苦情等があり、路面標示や案内看板の整備を事業者に要望しているところである。

問 自転車歩道に休憩できるベンチの設置はできないか。

答 道路管理者と協議し、

救急災害時の対応について

実施すべく調整を図っている。

問 「災害時要援護者の避難支援」への市の取り組みについて。

答 早期に「全体計画」に着手・策定し、その後「災害時要援護者名簿」を整理作成し、最後に「個別計画」を策定する予定である。

問 「救急情報キット」の配布対象者の拡大は。

答 今後どのような方を対象者として拡大していくのか、またその方策についても十分検討していきたい。

福祉行政について

問 女性特有のがん検診について昨年度の反省点は。また、受け皿は十分だったか。

答 受診者の半数近くが2月、3月の個別健診に殺到

したため混乱が生じたが、受け皿としては、受診率の目標であった50%より多い56%分まで受診可能であった。

問 働いている人に対する夜間、日曜日検診などの配慮は。

答 検討していきたい。

問 子宮頸がんワクチン予防接種費用の公費助成について、4月9日1万9712人の署名を添えて市長に要望したが、市長の考えは。

答 ワクチンの効果が高いことも接種費用が高いことも十分認識している。前向きに検討する。

問 今後の社会福祉協議会のあり方について。

答 自主自立に向けた取り組みについて協議し、調整を図りながら、必要な支援を引き続き行いたい。

その他の質問

一、財政健全化について

会派無所属 前波 艶子

食育について

朝食を摂らない児童や栄養の偏りによる小児成人病が問題となる中、小学校における「食育」に関心が高まっている。多くの自治体では、教育課程に食の指導を位置付けられ、鋭意その取り組みが進められている。しかし「食育」の目的は、食べ物に対する感謝の気持ちや、食生活の乱れを正すことだけではなく、食べ物（農業や畜産業など）に感謝を覚えるなど今や非常に多岐に渡っている。先進市では、特色のある取り組みを実施され、その成果をあげられていると聞く。一般に「体験のない食育は意味をなさず」と言われるように、本市においても先進市の取り組み事例を取り入れられ、食育の充実を求める。

自由民主党

稲田美津子
堀 憲治

安全、安心なまちづくりについて

ほか



こども防犯教室

問 防犯まちづくりにおいては、防犯活動だけでなく、日ごろから快適で活力あるまちをつくるのが効果的であるという観点に立ち、幅広い視野から取り組みを行うことが望ましいと考えるが、市の考えは。

答 防犯教室や犯罪パトロールなどの防犯に特化した活動は当然防犯に寄与するが、それだけでなく、地

域における日ごろのあいさ

つや声かけ運動などコミュ

ニティ活動を通じた顔の見

えるつながりが地域の防犯

力を高めることから、市

民協働による活力あるまち

づくりなど多くの取り組み

が地域の連携を強め、それ

らの相乗効果として地域の

防犯対策の充実並びに推進

につながるかと考えている。

問 本市においては子ども

の連れ去りの事案は起きて

いないとのことだが、子ど

もに向けての防犯指導はど

のように行っているのか。

答 日ごろより学校では登

下校時の注意及び帰宅後の

安全について、下校の際に

はできるだけ複数で帰る、

見知らぬ人から声をかけら

れてもついていけない、車

に乗らないなどの指導、ま

た、子どもたちの発達段階

に応じ、さまざまな形で子

どもが理解しやすいよう安

全指導を行っている。特

に、小学校低学年を対象

に、着ぐるみによる寸劇を

交えた防犯指導などを行

い、自分自身の身は自分で

守ることを体感しながら学

ぶ機会を設けている。

問 子どもたちが外で遊べ

なくなっている原因は公園

の安全性低下と考える。放

課後や休日など、子どもた

ちへの安全指導はどうして

いるのか。

答 公園に特化したことで

はないが、ひとりで遊ばな

い、暗い場所や人通りの少

ないところで遊ばない、出

かけるときは行き先を告げ

る、暗くなる前には帰るな

ど、基本的事項を繰り返し

て指導している。

安心して子供を

育てるための

環境について

問 寝屋川市の北河内夜間

救急センターが枚方市へ移

設される理由として、小児

科医師不足があげられる

が、なぜ枚方市なのか。

答 枚方市民病院は小児科

の2次救急の役割を担って

いるが、時間外受診、コン

ビニ受診が増加し、2次救

急の役割が有効に機能せ

ず、夜間診療化している状

況のため、医師の疲弊が極

めて深刻な状況となり、医

師の数が減少している状況

である。今回、北河内救急

センターを枚方市民病院に

隣接する保健センターへ移

設することで、医師の集約

化を図り、1次救急と2次

救急の役割に応じた医療を

提供することで医師の負担

軽減、事態の打開を図る目

的で枚方市になった。

その他の質問

一、こども110番の家につい

て

一、農と緑を活用した体験

学習について

会派無所属 浅田 耕一
星田北まちづくり協議会の
活動状況について

本年3月に第二京阪道路

が開通となり、心配されて

いた環境への影響もなく、

今やその経済効果への期待

が高まっている。事実、大

阪府が示す市街化調整区域

地区計画ガイドラインで

は、大規模幹線道路につい

ては産業立地を促進すると

あり、これにより寝屋川市

域では、沿道に大型商業施

設の開店が予定されてい

る。しかし、無秩序な開発

は行われるべきではない。

星田北地区では、沿道を有

する地区としてのまちづく

りに対する想いをまちづく

り基本構想として市に提案

されている。こういった地

区の想いをまちづくりに反

映させる、いわゆる、地域

主体のまちづくりを進めら

れ、良好な沿道整備を展開

されるよう強く望む。

日本共産党

皿海 ふみ・中上さち子
坂野 光雄

ゆうゆうバスの削減やめよ

問 ゆうゆうバスを3台から2台に減らすことで、積み残しの増加が心配されるが、どう対応するのか。

答 通常では積み残しは考えにくいですが、仮に積み残しが出た場合でも、職員が対応することは考えています。

問 21年度一般会計決算の状況は。

答 概算で約2億7千万円の黒字となる。

問 基金の状況は。

答 当初予算では7億9千万円取り崩す予定であったが、反対に約1億7千万円を積み増し、27億円となった。

意見 市として、積み残しの状況を把握し、対策をとるべきだと考える。また、市の案では、星田コースからいきいきランドへの直通便の廃止、行殿団地などのバス停の廃止、1日の便数削減などで、利用者は大変不便になる。バスの削減は、障がい者・高齢者の活発な活動を妨げ、活気あるまちづくりに反する。バス



いきいきランド交野で停車するゆうゆうバス

21年度決算について

問 削減の撤回を求める。

答 概算で約2億7千万円の黒字となる。

問 基金の状況は。

答 当初予算では7億9千万円取り崩す予定であったが、反対に約1億7千万円を積み増し、27億円となった。

る。

問 16年から22年までの市民サービス切り下げの合計金額は約6億3千万円である。サービス切り下げを行わなくても財政的に問題がなかった。市長は負債減少を自慢しているが、新たな事業をしなければ、自動的に減るのでは。

答 新しい事業を行えば増えていく。現実には減ったことを言っているだけである。

意見 負債の減少を自慢するのではなく、市民サービスの切り下げこそ反省すべきである。

国保「医療費窓口負担」の減免拡大と周知について

問 医療費窓口支払い困難者を救済する減免措置がとられているが、世帯収入が生活保護基準以下と厳しいため利用は1件のみである。減免基準を拡大すべきでは。

答 昨年、減免要件を国保

料分納世帯にも適用するなど拡大した。今後の減免基準拡大については近隣市を見て検討したい。

要望 窓口の負担軽減について国は、市町村での積極的活用と今後の財政支援方針も打ち出している。制度案内は、市民がわかるように市役所窓口での案内、ゆうゆうセンターなど公共施設でも掲示すべきである。

介護保険料の減免拡大を

要望 介護保険料の減免基準は、年間世帯収入が96万円以下であるが、本市の65歳以上一人暮らしの生活保護基準額は年額約160万円程度である。生保基準に基づいた算出であるのならば実態に即した減免基準額に拡大すべきである。

その他の質問

- 一、第二京阪道路の環境監視と安全対策について
- 一、保育所の待機児童の解消について

議員控室配置図

自由民主党	公明党	市民かがやきクラブ		会派無所属	日本共産党
◎堀 憲治 稲田美津子	◎三浦美代子 岩本健之亮 新 雅人 友井 健二	◎谷 巖 吉坂 泰彦	黒田 実 坂本 顕 野口 陽輔	栗原 俊子 浅田 耕一 前波 艶子	◎坂野 光雄 中上さち子 皿海 ふみ
内線 307	内線 305	内線 304	内線 303	内線 302	内線 301

※◎は、会派の幹事長

総務文教常任委員会（6月4日）

22年度一般会計補正予算（第1号）を可決

議案第35号 22年度一般会計補正予算（第1号）

▼概要 緊急雇用等補助金を受けて各種事業を行うもの。主な事業としては、緊急雇用対策事業（一般職員の事務補助員等の臨時職員などを新た

に雇用）、交野物産アンテナショップモデル事業（府民の森ほしだ園地内で交野の観光PRや物産品を販売）、学校ICT支援事業（市立小・中学校へICT支援員を派遣し、機器活用のサポート

や教材の作成の支援を実施）など。

▼主な質疑

問 緊急雇用等の補助金を活用して行われる各事業によって、どれほどの市民が新たに雇用されるのか。

答 新たな雇用は市民に限定したものではなく、離職票を持っている人が優

先される。そのため、市民に限った新規雇用者数は把握していない。総数としては、21年度に18人の雇用を生み出した。なお、22年度は40人程度の雇用創出を見込んでいる。

▼結果 可決（満場一致）

議会改革特別委員会（3月30日・4月16日）

「政務調査費の見直し」「議会一般質問に関する協議」「議員研修会」「議会報告会」などについて審査を行いました。

▼主な内容

「政務調査費の見直し」

これまで議員活動は公私合わせて6つに分類していましたが4分類に変更したため、公私の区別がつきにくい支出での按分比率も6分の1から4分の1に変更し、政務調査費マニュアルを改訂することとしました。

「議会報告会」

具体的に、どのような内容を報告するのか、どのような形で運営していくのかなど不明な点が非常に多いため、すでに議会報告会を実施している大東市議会を視察と意見交換会を実施することとしました。

都市環境福祉常任委員会（6月4日）

住宅リフォーム助成条例の制定を否決 ほか

議案第32号 国民健康保険条例の一部改正

▼概要 国民健康保険医療分と後期高齢者支援金の賦課限度額について、中間所得層の負担軽減を図るとともに、リストラなどによる職を失った失業者にかかる保険料の負担軽減策を講じるもの。

に導入していることは評価するが、どのように周知を行っているのか。

答 市広報紙や本算定納入通知書、国保独自の冊子「国保かたの」などを利用し、周知を行っている。また、窓口にもチラシを置いている。

問 市広報紙や本算定納入通知書、国保独自の冊子「国保かたの」などを利用し、周知を行っている。また、窓口にもチラシを置いている。

答 市広報紙や本算定納入通知書、国保独自の冊子「国保かたの」などを利用し、周知を行っている。また、窓口にもチラシを置いている。

問 市広報紙や本算定納入通知書、国保独自の冊子「国保かたの」などを利用し、周知を行っている。また、窓口にもチラシを置いている。

答 市広報紙や本算定納入通知書、国保独自の冊子「国保かたの」などを利用し、周知を行っている。また、窓口にもチラシを置いている。

問 市広報紙や本算定納入通知書、国保独自の冊子「国保かたの」などを利用し、周知を行っている。また、窓口にもチラシを置いている。

答 市広報紙や本算定納入通知書、国保独自の冊子「国保かたの」などを利用し、周知を行っている。また、窓口にもチラシを置いている。

問 市広報紙や本算定納入通知書、国保独自の冊子「国保かたの」などを利用し、周知を行っている。また、窓口にもチラシを置いている。

答 市広報紙や本算定納入通知書、国保独自の冊子「国保かたの」などを利用し、周知を行っている。また、窓口にもチラシを置いている。

問 市広報紙や本算定納入通知書、国保独自の冊子「国保かたの」などを利用し、周知を行っている。また、窓口にもチラシを置いている。

答 市広報紙や本算定納入通知書、国保独自の冊子「国保かたの」などを利用し、周知を行っている。また、窓口にもチラシを置いている。

▼主な質疑

問 国の制度化以前から、リストラなどによる失業者の負担軽減策を市独自の

議員提出議案第13号

住宅リフォーム助成条例

の制定

▼結果 否決（賛成少数）

▼討論

は、秋田県と島根県では、県の補助がある。

かたの市議会だより（7）

平成22年第3回議会定例会（6月2日～18日）

案 件 名		本会議結果
諮2号	人権擁護委員の推薦について	適任◎
報2号	平成21年度交野市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報3号	平成21年度交野市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報4号	平成21年度交野市水道事業会計継続費繰越計算書について	報告
報5号	平成21年度交野市水道事業会計予算繰越計算書について	報告
報6号	交野市土地開発公社の経営状況について	報告
報7号	交野市体育文化協会の経営状況について	報告
報8号	交野市文化財事業団の経営状況について	報告
報9号	交野市水道サービス株式会社の経営状況について	報告
報10号	専決処分事項報告について（和解及び損害賠償の額の決定）	報告
議21号	専決処分事項報告について（交野市税条例の一部を改正する条例）	承認◎
議22号	専決処分事項報告について（平成21年度交野市一般会計補正予算（第8号））	承認◎
議23号	専決処分事項報告について（平成21年度交野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号））	承認◎
議24号	専決処分事項報告について（平成21年度交野市下水道事業特別会計補正予算（第2号））	承認◎
議25号	専決処分事項報告について（平成21年度交野市介護保険特別会計補正予算（第2号））	承認◎
議26号	専決処分事項報告について（平成22年度交野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号））	承認◎
議27号	専決処分事項報告について（平成22年度交野市下水道事業特別会計補正予算（第1号））	承認◎
議28号	交野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議29号	交野市非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議30号	交野市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議31号	交野市税条例の一部を改正する条例について	可決◎
議32号	交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決◎
議33号	交野市火災予防条例の一部を改正する条例について	可決◎
議34号	北河内夜間救急センター協議会規約の一部を変更する規約について	可決◎
議35号	平成22年度交野市一般会計補正予算（第1号）について	可決◎
議36号	平成22年度交野市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	可決◎
議37号	工事請負契約の締結について（交野市立第三中学校耐震補強工事）	可決◎
議38号	工事請負契約の締結について（交野市立郡津小学校耐震補強工事）	可決◎
議39号	工事請負契約の締結について（交野市立星田小学校耐震補強工事）	可決◎
議40号	訴えの提起について	可決◎
議員13号	交野市住宅リフォーム助成条例の制定について	否決
議員14号	国民の生命と財産を守る防災・生活関連予算の充実を求める意見書の提出について	可決◎
議員15号	コメの戸別所得補償対策等の見直しを求める意見書の提出について	可決◎
議員16号	未就職新卒者の支援策実施を求める意見書の提出について	可決◎
議員17号	発達障がいや、その他文字を認識することに困難のある児童生徒のためのマルチメディア デジ教科書の普及促進を求める意見書の提出について	可決◎

※諮は諮問、報は報告、議は議案、議員は議員提出議案です。本会議結果の◎は満場一致です。

議会の傍聴にお越しく下さい
～第4回議会定例会の予定～

9月29日（水）～10月1日（金） 本会議
10月15日（金）～19日（火） 本会議（一般質問）
10月21日（木） 本会議（委員長報告・採決）